

# ○調査結果の概要

## 1. 貿易企業の概要

### ・貿易実績のある企業 198 社

2017 年(暦年)における輸出企業は 157 社(前年 156 社)、輸入企業は 98 社(同 93 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 57 社(同 56 社)で貿易企業は 198 社(同 193 社)となった。

所在地別では、松江市が 58 社と最も多く、続いて出雲市 50 社、浜田市 18 社の順となった。

## 2. 貿易実績

### ・島根県の 2017 年貿易額は 3,783 億円

県内企業の 2017 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 3,783 億円(前年 3,049 億円)であり、前年比 24.1%の増加となった。

輸出額 2,612 億円(前年 2,415 億円)に対し、輸入額は 1,171 億円(前年 634 億円)となっており、1,442 億円の輸出超過(前年は 1,782 億円の輸出超過)となった。

### (1) 輸出の実績

#### ・輸出額は 2,612 億円、輸出全体の 70.3%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2017 年(暦年)の県内企業の輸出額は 2,612 億円(前年 2,415 億円)であり、対前年比で 8.2%の増加となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 1,838 億円(構成比 70.3%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 468 億円(同 17.9%)となっており、両品目で輸出全体の 88.2%を占めた。地域別では、アジアが 560 億円(同 21.4%)、ヨーロッパが 503 億円(同 19.3%)、北アメリカが 186 億円(同 7.1%)となっており、この三地域で全体の 47.8%を占めている。国別輸出額でみるとドイツが 375 億円(同 14.3%)、アメリカ合衆国が 162 億円(同 6.2%)、韓国が 138 億円(同 5.3%)、中国が 129 億円(同 4.9%)となっている。なお、不明が 1,352 億円(同 51.8%)となっている。

輸出形態では、直接輸出が 536 億円(同 20.5%)、間接輸出が 2,076 億円(構成比 79.5%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 30.2%、次いで関東地域が 12.5%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、境港 3.1%、浜田港 0.8%となっている。

## (2) 輸入の実績

### ・輸入額は1,171億円、輸入全体の37.4%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2017年(暦年)の県内企業の輸入額は1,171億円(前年634億円)であり、対前年比で84.8%の増加となった。

輸入を品目別にみると、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が438億円(構成比37.4%)と最も多く、次いで「鉱物性生産品」が343億円(同29.3%)、「卑金属及び同製品」が139億円(同11.8%)となっている。地域別では、アジアが724億円(構成比61.8%)と最も多く、オセアニアが260億円(同22.2%)と続いており、両地域で全体の84.0%を占めている。国別輸入額で見ると中国が527億円(構成比45.0%)、オーストラリアが244億円(同20.8%)、インドネシアが88億円(同7.5%)、アメリカ合衆国が32億円(同2.8%)、韓国が30億円(同2.6%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が497億円(同42.5%)、間接輸入が673億円(同57.5%)となっており、間接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは関西地域で全体の53.9%を占めた。なお、山陰地方の港の荷揚げは、三隅港26.7%、境港5.0%、浜田港3.5%となっている。

## 3. 海外直接投資及び外国企業との提携

### ・投資先、提携先ともに中国が最多

海外への投資案件は全体で25社31件となっており、投資先を国別にみると、中国11件、タイ8件、アメリカ合衆国が4件となっており、構成比で見ると中国が35.5%、アジア全体で77.4%を占めている。

形態別では、独資11件、合弁11件、駐在員事務所6件、支店・その他・不明が1件ずつとなっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で39社72件あり、提携先を国別にみると、中国が22件(構成比30.6%)と最も多く、次いでタイが6件となっている。地域別にみると、アジアが57件で79.2%を占め、ヨーロッパが5件で6.9%、北アメリカが4件で5.6%となっている。

形態別では、販売代理店契約36件、技術供与13件、委託加工貿易10件、技術導入2件となっている。